

北陸先端科学技術大学院大学研究室教育指針  
Laboratory Education Guideline

研究室教育指針は、学則第30条の3に基づき、研究指導の方法及び内容並びに修了までの研究指導の計画をあらかじめ明示するものです。

Based on the Article 30-3 of the general academic rules, the Laboratory Education Guideline is intended to clearly outline the methods and content of research guidance, as well as the plan for research guidance until completion.

氏名 / name : 吉岡秀和 役職 / official position : 准教授

<b>1. 研究テーマ / Research Theme</b>
環境と社会のサステナビリティを導く意思決定科学
<b>2. 修得が期待される能力 / Competencies expected to be acquired</b> 研究室教育は必修 A 科目（先端）又は研究支援科目（融合）の一部として単位化されており、この欄はそれら科目のシラバス上の達成目標の一部となります。 Laboratory Education is accredited as a part of the Required courses A (Division of Advanced Science and Technology) or Research Support Courses (Division of Transdisciplinary Sciences), and this section constitutes a part of the course goals stated in the syllabus for such subjects.
数理的な視点から資源や環境の持続的な管理を考究するための知識やスキル、とりわけモデリングや制御理論、最適化理論に関わるもの。限られたデータからその背後に潜む数理法則を抽出するための数理・数値的な方法論。
<b>3. 研究指導方針 / Research Guiding Principle</b>
研究テーマは学生の自主性を尊重しつつ、教員との相談により決定したいと考えています。河川・湖沼・ダム貯水池・農地などの研究フィールドにおいて取得されたデータに基づく数理解析や数値計算等、様々な研究テーマが想定されます。フィールドでのデータ取得は常に一期一会であり、限られたデータから現象の背後に潜む数理構造を見出す必要に迫られる場面が多い。そのために、データから実現象を見出す力を養います。
<b>4. 研究室活動の内容及び方法 / Content and Methods of Laboratory Activities</b>
<input type="checkbox"/> 日次活動 / Daily Activities : とくになし <input type="checkbox"/> 週次活動 / Weekly Activities : 個別ミーティング（随時）、研究進捗報告ゼミ（週1回程度） <input type="checkbox"/> 月次活動 / Monthly Activities : とくになし <input type="checkbox"/> 不定期活動 / Occasional Activities : 中間発表会や論文発表会、学内外の研究発表会の前に行う発表練習
<b>5. 年間スケジュール / Annual Schedule</b> 本学の全学共通の年間スケジュールは「履修案内」の「学位取得に至るスケジュール」を参照してください。（本学HP参照：ホーム>教育>履修関係>履修案内） Please refer to the “Degree conferment schedule for the master’s program/doctoral program” in the “Degree Completion Guide” for university-wide common schedule (JAIST website: Home >Education>Taking Courses>Degree Completion Guide)
修士・博士課程の学生には研究に対する主体性が必然的に求められるが、これはどこの大学、どこの研究室でも同様であると考えている。この前提の下、本研究室では以下のようなスケジュールに基づいた研究室活動を行う。  (毎年 6-11 月) M2 以上の学生は応用数理関係の学外の研究発表会に参加し、研究発表を行う。  (毎年 12 月)

3月卒業のM2学生はこの時期に、修士論文初校を必ず仕上げる。他の時期に修了予定の学生についても時期をずらして同様のことを求める。

(毎年随時)

M2以上の学生、とくにD1以上の学生は必ず、毎年1報は研究論文を応用数理または関連分野の査読付き学術雑誌に投稿する。

(毎年2-3月)

修了する学生は、関連研究を行う学生への研究引継ぎを行う。他の時期に修了予定の学生についても時期をずらして同様である。